

令和5年6月1日

島田市議会議長 大石 節雄 様

広報広聴特別委員会
委員長 森 伸 一

広報広聴等に関する調査研究について（最終報告）

本委員会は、調査した事件の結果について、委員会条例第36条の規定により別添のとおり報告いたします。

記

- 1 調査事件 議会だよりの編集及び広報広聴に関する調査・研究
- 2 調査結果 別添報告書のとおり

「広報広聴特別委員会」最終報告書

令和4年6月定例会において、委員6人による「広報広聴特別委員会」を設置し、議会だよりのさらなる充実を図るとともに、高校生など若者世代との意見交換も含む議会報告会のあり方などについて、継続して調査・研究に取り組んだ。

1 特別委員会の開催について

- 令和4年 6月30日（正・副委員長互選、議会だより84号（臨時号）編集①、85号（6月定例会号）編集①）
- 令和4年 7月 5日（議会だより84号編集②、85号編集②）
- 令和4年 7月14日（議会だより85号編集③）
- 令和4年 8月 8日（議会だより85号編集④、議会報告会について）
- 令和4年 9月12日（議会だより86号（9月定例会号）編集①、議会報告会について）
- 令和4年10月 5日（議会だより86号編集②、議会報告会について）
- 令和4年10月18日（議会だより86号編集③）
- 令和4年11月17日（所管事務調査について）
- 令和4年12月 6日（議会だより87号（11月定例会号）編集①、所管事務調査について、高校生との意見交換会について）
- 令和4年12月23日（議会だより87号編集②、所管事務調査について）
- 令和5年 1月19日（議会だより87号編集③、所管事務調査について）
- 令和5年 2月 8日（議会だより88号（2月定例会号）編集①、所管事務調査の振り返りと今後の広報広聴活動について）
- 令和5年 2月20日（議会報告会について）
- 令和5年 3月28日（議会だより88号編集②、議会報告会について、高校生との意見交換会について）
- 令和5年 4月17日（議会だより88号編集③、議会報告会について、高校生との意見交換会について）
- 令和5年 5月11日（議会報告会について、高校生との意見交換会について）

2 「読みやすく、わかりやすく、親しみやすい」議会だよりの編集手法について

本特別委員会は、紙面リニューアルした議会だより第52号（11月定例会号）から継続して、市民に読みやすく、わかりやすい議会だよりの紙面づくりのため、以下の(1)から(3)までの事項を検討しながら、編集作業と発行を行った。

- (1) 余白を活用した「見やすく読みやすい」レイアウトとするため、最適な文字数とし、写真の大きさなどを工夫すること。
- (2) 「親しみやすい」議会だよりとするために、表紙とそれに続く見開きペ

ージを連動させ「手に取って見たくなる」特集記事を掲載すること。

- (3) 一般質問の原稿については、タイトルの最大文字数を決め、一問一答の内容と整合性がとれること。前置きや提言、要望は取り扱わない。問いに自分の思いなどを入れる場合は簡潔に記述し、当局の答弁を中心に書くこと。会議録に沿った内容とし、人を傷つけるような品位を欠ける表現は避けること。

令和4年度の発行

号数	内容	発行日	発行部数
84	臨時号	令和4年7月15日	34,600
85	6月定例会号	令和4年8月12日	34,600
86	9月定例会号	令和4年11月15日	34,600
87	11月定例会号	令和5年2月15日	34,600
88	2月定例会号	令和5年5月15日	34,600

3 議会報告会の開催について

「島田市議会基本条例」に則り、議会の活動の動向を市民に伝え、市民と議員とが自由に意見及び情報交換するために、議会報告会を2回開催し、意見交換を行った。この1年は2回の議会報告会を、会場の感染症予防対策をとりながら、対面形式で開催することができ、テーマに添った建設的な意見及び情報を聞くことができた。これらの意見及び情報などは、その後の事後検討会において議会活動に反映させていく対応をとった。

なお、2回目の議会報告会は開催時間を午後2時からとし、一部の会場ではワールドカフェ形式で行った。これらの試みは今後の議会報告会の在り方を議論するための参考としたい。

参加者数

区分	開催日	対象者	会場	参加人数	人数合計
第1回	10月29日	市民（公募）	初倉公民館	18	54
	11月5日		川根支所	12	
			北部ふれあいセンター	24	
第2回	5月20日	市民（公募）	大津農村環境改善センター	37	65
			六合公民館	16	
			金谷北地域交流センター	12	

4 高校生との意見交換会について

選挙年齢の18歳への引き下げを踏まえ、次世代を担う高校生が議会や島田市の現状をどのように考え、今後どうなってほしいかなどの意見を市政に反映で

きる場を設けていきたいと、高校生との意見交換会の実施について検討が重ねられてきた。今年度は宮城県柴田町議会と岩手県奥州市議会に行政視察を行い、先進事例を学んだ。

この結果を受けて、特別委員会委員が市内6高等（実業）学校に議会だよりを持参し、最近の学校の話題や教育方針、市や議会への要望を聴くとともに、生徒との意見交換会を実施する上での意向をアンケート形式で聴取した。

高校生との意見交換については、議員が高校に出向いて開催を希望するという意見が多かったため、この形式で、来年度実施する方向で準備したい。

5 まとめ

「広報広聴特別委員会」は、以上の報告のとおり、議会だよりの編集・発行、議会報告会の開催、高校生との意見交換会の実施に向けての活動を行ってきた。

今年度の活動を終えるにあたり、来年度に向け、本特別委員会として以下のとおり提案する。

1 広報広聴委員会の権限の明確化

(1)「読みやすく、わかりやすく、親しみやすい」議会だよりを心掛けた。

校正作業に加え、議会だよりは公費によって制作されていることを踏まえ、公平・公正な編集作業を行う必要性から、執筆者の意見を踏まえつつ委員会の権限において校正作業を行った。

また、議会報告会の企画や内容についても委員会の名称変更に合わせて主体となって決定する役割が求められる。

(2)委員会の活動内容が質・量ともに増える場合には、常任委員会に位置付けることを検討されたい。

2 議会報告会で、参加者が発言しやすくするために、ワールドカフェ形式を実施している議会も多い。島田市議会でも、ワールドカフェ形式の意見交換会導入に向けて準備を始めていただきたい。また、開催時間について、昼間の開催など新しい試みも行ったが、担当以外の議員が参加し住民の意見を聴けるよう、地区ごとの開催日時をずらしてほしいという意見もあり、検討していただきたい。

3 議会報告会とは別に、各種団体との意見交換会を実施している。意見交換会は常任委員会ごとで計画し、現在行っている団体に限らず、多くの団体の意見を常任委員会で吸い上げ、提言に生かしていただきたい。

4 高校生との意見交換会について、市内の6高等（専修）学校から意見聴取したところ、議員が学校に出向く出前講座的な方法を希望する学校が多数を占めた。1学校に議員何人で出向くか、どのようなテーマがふさわしいか、どのような形式（対面かワールドカフェ方式か）で進めるかなど、具体策を早急に協議・決定し、令和5年10月ごろから、いくつかの学校で行えるようお願いしたい。

5 現在の議会だよりのレイアウトについては、第 52 号発行時にリニューアルされ現在に至っているが、表紙特集記事の役割や委員会報告の書き方などにおいて改善する必要性が生じており、次の特別委員会委員で検討していただきたい。